

平成 30 年 1 月 22 日

受験生の皆様
関係各位

金 沢 医 科 大 学
学 長 神 田 享 勉

平成 30 年度医学部一般入学試験（前期）第 1 次試験における出題ミスについて

去る、平成 30 年 1 月 18 日（木）に実施いたしました医学部一般入学試験（前期）第 1 次試験「生物」において出題ミスがありました。受験生ならびに関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びし、再びこのようなことのないよう再発防止に最善を尽くす所存であります。

記

1. 試験日：平成 30 年 1 月 18 日（木）
2. 選抜区分：平成 30 年度医学部一般入学試験（前期）第 1 次試験
（医学部医学科）
3. 試験科目：「生物」〔理科選択（物理、化学、生物から 2 科目選択）、1 科目 100 点満点〕
4. 試験時間：13:00～15:00（2 時間）
5. 受験者数：1,743 名（「生物」選択者数）
6. 合格発表日：平成 30 年 1 月 23 日（火）午後 1 時
7. 当該箇所：「生物」の試験において、正誤の判断が難しい選択肢が含まれていました。
（内容）問題 2 設問（2）では、6 つの選択肢の中から最も適切な記述 1 つを選択しますが、正答（選択肢⑤）の他に、正誤の判断が難しい選択肢 1 つ（選択肢③）が含まれていました。
（問題全文）
（2）ウニの発生過程に関する記述として最も適切なものを選びなさい。 21
①一次間充織細胞が生じるのは桑実胚期である。
②ふ化が起こるのは桑実胚期である。
③胞胚内部の空所は卵割腔とよばれる。
④原口は将来の口になる。
⑤二次間充織細胞は 16 細胞期の植物半球の細胞に由来する。
⑥プルテウス幼生を経て、プリズム幼生となる。
8. 対応措置：

問題² 設問（2）については、正答の選択肢⑤に加え、選択肢③についても正解とし、いずれかを選択した受験生に加点することとします（配点3点 / 100点満点）。

[選択肢③も正解とする根拠]

ウニの発生に関し、高等学校教科書では一般に「桑実胚内部の空所は卵割腔とよばれるが、胞胚期からは胞胚腔とよばれるようになる」という内容の記載がなされています。よって選択肢③は不適と判断させるものでした。

しかし、一部の教科書に、「胞胚期の卵割腔を胞胚腔という」との記載があり、これに従えば、選択肢③を不適と判断するのは難しかったと考えられます。よって、正答の選択肢⑤に加え、選択肢③についても正解とするものです。

○本件に関するお問い合わせ

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 入学センター

TEL076-218-8063（直通）